令和元年１２月　６日　第４０号　白河市立大信中学校

学校だより

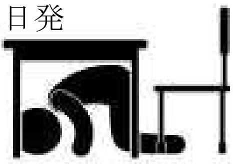
三年先の稽古

発行：校長　益子　朗

学校スローガン

「鉄は打て打て熱いうち
夢は抱け抱け若いうち」

活かされた防災学習



最近、また地震が頻発しています。今週水曜日の３校時にも、中通りで震度３を観測する地震が発生しました。

ちょうど校長室で会議中だった先生方は一斉に席を立ち、ある先生は緊急放送をしに、ある先生は校舎内の点検に、ある先生はテレビの地震速報を確認にと動きました。

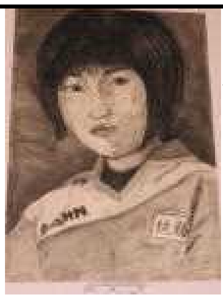
そして全校生は放送の指示に従って素早く机の下に潜って身を守りました。ある学級では、大きな揺れが来たと思ったらすぐ、放送を待たずにこの行動をとったそうです。

９月に「シェイクアウト福島」（一斉安全確保訓練）でこの行動訓練を経験済みとは言え、なかなかとっさにできる行動ではありません。

本校では昨年度の創立五十周年記念事業と８・２７水害二十周年を機に防災学習に取り組んできましたが、繰り返し学習するうち、生徒の皆さんに防災、特に「命を守る行動」についての意識が高まってきたものと思います。

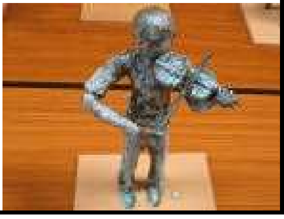
どんな学習でも「机上」で終わってしまったのでは何にもなりません。普段の生活の中で役に立ってこそ、本当に身についた力と言えます。生徒諸君の自覚ある行動は素晴らしいと思います。

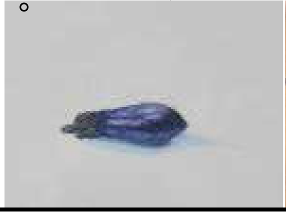
特選おめでとう！



先日の東西しらかわ造形展に本校から出品された作品のうち、ごらんの３点が特選となり、県の造形展に出品されることになりました。おめでとうございます。

（右上：佐藤　雅さん、右下：藤島美優さん、左下：塩田　心さんの作品）

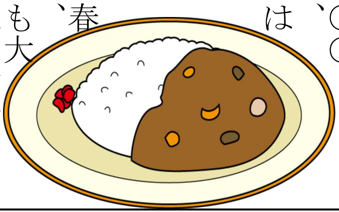




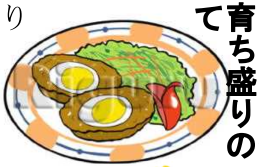
校長のつぶやき

「お袋の味」と「苦肉の策」

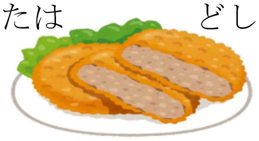
私▲▲：は食べ物では○○類が苦手なのですが、あとはたいていの物は食べられます。魚は刺身、煮魚、焼き魚などなんでも大好きですし、野菜も何でも食べます。ピーマン、セロリ、うど、春菊、ふきのとうなど、苦手な人が多い野菜も大好きです。肉料理ではメンチカツ、ハンバーグ、スコッチエッグ、焼売、餃子などが大好物です（ここでお気づきでしょうが、好きなのは全て挽肉料理です。先日**「ステーキ○」**に行ったときも、食べたのはハンバーグでした）。

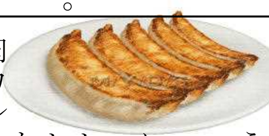


これには理由があります。実は私は子どもの頃は肉（特に脂身）が大の苦手でした。給食では担任の先生が厳しくて、絶対に残せなかったので、おかずに肉が入っていると牛乳で丸呑みしていました。そんな私に何とか肉を食べさせようと、それこそ**「苦肉の策」**で母が思いついたのが挽肉料理です。私の大好物のカレーライスも、母は挽肉で作りました。**育ち盛りの男の子が肉を食べなくては体力がつかないと思って、一生懸命考えて工夫してくれた**のでしょう。おかげで私は中学生の頃には普通に肉が食べられるようになりました。もし母が私に肉を食べさせるのを諦めていたら、私は丈夫な体に育たなかったでしょう。亡き母に感謝です。



大信中生のお母さん方も、お子さんの好き嫌いに苦労されているかもしれません。**食べ物でも勉強でも、嫌いなことをただ押しつけるだけでは、子どもは食べようともやろうともしません。**しかし、その食べ物のおいしさ、その教科のおもしろさを味わわせれば、子どもはきっとそれを好きになるはずです。苦手な食べ物や教科を**どうしたら好きになるか、ここが大人の知恵の絞りどころ**ではないでしょうか。子どもたちの苦手克服のために、もう一工夫してみましょう。





私が肉を食べられるようになってからも、なぜかずっと我が家は挽肉カレーでした。不思議に思っていましたが、かつて単身赴任した時、福島の宿舎で時々挽肉カレーが出たので。料理長さんに、肉が苦手の人のために挽肉カレーを出すのかと尋ねると、意外な答えが返ってきました。なんと挽肉の方が肉の出汁が出てカレー自体がおいしくなるんだとか！うちのカレーがおいしかったのは、**「お袋の味」**だったというだけでなく、ちゃんと理由があったんだと納得しました。